第十一回 湘南ひらつか能狂言

新作能

「長崎の郵便配達」

平塚の地に響く、鎮魂と平和の舞

令和九年 二月二十日(土)

開演 午後二時（開場 午後一時半）

会場 ひらしん平塚文化芸術ホール 大ホール



撮影：新宮夕海

事前講座
「長崎の郵便配達」映画上映会
詳細は裏面

演目

【第一部】祈りの文化　復曲能と新作能
紙芝居「真田」
仕舞「真田」
平塚の空襲と原爆
シンポジウム
「長崎の郵便配達」
プロモーションビデオ

【第二部】
復曲狂言「蜂」
新作能「長崎の郵便配達」

出演者

加藤眞悟
（重要無形文化財〔能楽〕総合認定保持者）
ほか

チケット

■全席指定 S席 4,000円 A席 2,500円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

◆学生（小学生から高校生まで）無料招待席あり◆
先着30名：平塚市まちづくり財団ホームページ「申込フォーム」から
※公演当日、学生証など年齢のわかるものをご用意ください。

販売所

■インターネット販売　令和８年12月５日(土) 10:00から
- 平塚市まちづくり財団ホームページ
- ファミリーマート店内 マルチコピー機　※座席は選べません。

平塚市まちづくり財団 コンサート 検索　検索

■窓口販売（現金支払いのみ）　令和８年12月８日(火) 10:00から
- ひらしん平塚文化芸術ホール 総合受付窓口　TEL 0463-79-9907
- サクラ書店 ラスカ平塚店　TEL 0463-23-2751

主　催　公益財団法人 平塚市まちづくり財団、湘南ひらつか能狂言実行委員会
後　援　平塚市教育委員会　　協　力　一般社団法人 復曲能を観る会、与一郷づくり協議会、眞謡会
お申込み・お問い合わせ　公益財団法人 平塚市まちづくり財団 文化事業課 TEL:0463-32-2237 〒254-0045 平塚市見附町31-10
※この事業は平塚市文化振興基金の一部を活用して実施しています。

第十一回湘南ひらつか能狂言

令和九年二月二十日(土)午後二時開演
於・ひらしん平塚文化芸術ホール

【第一部】

祈りの文化　復曲能と新作能

紙芝居「真田」小川よしのり
仕舞　「真田」加藤　眞悟　地謡　長谷川晴彦他
平塚の空襲と原爆
シンポジウム　水島　久光　加藤　眞悟
「長崎の郵便配達」プロモーションビデオ
休　憩（二十分）

【第二部】

復曲狂言

蜂
シテ　奥津健太郎
後見　奥津健一郎

新作能

長崎の郵便配達
前シテ　郵便配達人　加藤　眞悟
後シテ　東神（谷口スミテル之霊）　古室　知也
ツレ　西神（ピーター・タウンゼンド之霊）　梅村　昌功
ワキ　旅人　奥津健一郎
アイ　ところの者　子どもたち　小野寺竜一　久田舜一郎

笛　大倉正之助
小鼓　大川　典良
大鼓　梅若　紀佳
太鼓　梅若　紀長
後見　梅若　志長　加野　鉄音　萩原　郁也　長谷川晴彦　梅若千音世　梅若　泰志
地謡　梅若　泰志

アフタートーク

終了予定　午後五時頃

新作能【長崎の郵便配達】（大倉正之助作、節付加藤眞悟）
長崎の被爆地を舞台にして、被爆者谷口稜曄の体験とピーター・タウンゼンドの交流を基に、核廃絶の願いを題材に描く。
静謐な能の表現で平和の尊さを訴える。

平塚大空襲の記憶を「能」で未来へつなぐ

「湘南ひらつか能狂言」実行委員会　顧問　加藤　眞悟

新作能『長崎の郵便配達』の背景には、川瀬美香監督によるドキュメンタリー映画『長崎の郵便配達』があります。長崎での被爆者である谷口稜曄（すみてる）氏と英国人作家ピーター・タウンゼンド氏との交流が、タウンゼンド氏の娘さんの視点から描かれることによって、核廃絶への願いと平和への道筋が浮かんできます。

国籍と立場を超えた二人の対話から、戦争の非情、過去の記憶、未来への責任が、今を生きるわたしたちに手渡されているように感じます。

一九四五年七月十六日の夜から十七日未明にかけて、平塚は大空襲に見舞われ、一般市民の三百六十名以上が命を落としました。紅谷町周辺を中心に市街地は壊滅し、焼夷弾によって焼き尽くされました。広島と長崎に落とされた原爆だけでなく、東京大空襲をはじめ、大阪、名古屋、神戸、鹿児島、富山、北九州、愛知県豊川市、新潟県長岡市、茨城県日立市、群馬県伊勢崎市、静岡県沼津市、福島県郡山市が、神奈川県では横浜、川崎、横須賀、小田原、藤沢にも空襲があり、多くの市民が逃げ場を失い落命、街は焦土と化しました。

失われた魂に原爆と空襲の違いはありません。この平塚の地でも、たくさんの人の命が失われ、被災しても立ち上がり、この土地を愛して、未来の子孫に財産を残してくれました。

平塚で生まれた私は子どもの頃、砂地で遊んでいるとよく焼夷弾の残骸を見かけました。それが空襲の痕跡だと知り、「ここは昔、みんな燃えたんだ」と思ったときの記憶は、今も私の中に残っています。

戦後八十余年、街は復興を遂げましたが、歳月とともにあの日の記憶を語る機会が失われつつあります。

日本に生まれ、復興した現在を生きる私たちが、今もう一度この土地の記憶を未来へ手渡すために、新作能『長崎の郵便配達』をご鑑賞頂ければと思います。

世界に目を向ければ、絶え間なくどこかで戦争が続いています。『長崎の郵便配達』をご覧になった方々と関わった者達とが、この作品に込められた想いを届ける配達人になってゆくことが、私たちにできることではないかと感じています。

映画監督 川瀬美香氏より

ピーター・タウンゼンド著『The Postman of Nagasaki』（一九八四）は三十年の時空を超え、形を能に変えて、二〇二五年秋、パリに生き返りました。フィガロ誌全面記事により、公演全日、会場には長蛇の列。息を凝らして見入る観客と演者が一体となり、新作能「長崎の郵便配達」はフランスの人々に鮮烈な印象を与えました。

新作能【長崎の郵便配達】
二〇二五年十月九日～十一日
パリ日本文化会館大ホールにて
主催者　パリ日本文化会館



あらすじ

現代社会に疲弊した若者（旅人）が長崎に行き着く。

平和公園で一人の青年（郵便配達人）に声をかけると、郵便配達人は平和像の謂れと、先の大戦で無辜（むこ）の民が多く犠牲になったことを語る。原爆が落ちた様、稲佐山に逃げた谷口スミテルが生き残ったことを語り、稲佐山で待っていると言い残すと消え失せる。〔中入〕

稲佐山の子どもたちと遊ぶ者（所の者）が現れ、スミテルが生きる者へ勇気を与えたことを語る。旅人が稲佐山で仮寝すると、スミテルの霊が神（東神）となって現れ、人は皆、神の子であるからあきらめてはいけないと諭す。ピーター・タウンゼンドの霊も神（西神）となって現れる。

〔弥栄之舞〕

一人一人の想念が顕わになって未来をつくる。平和を求める心を伝承し、陰と陽、東西が和合した弥栄の世をつくる姿をみせる。

第十一回 湘南ひらつか能狂言
事前講座　「長崎の郵便配達」　映画上映会

日　　時　令和９年２月５日㈮　【１回目】10:30から　【２回目】13:30から
会　　場　ひらしん平塚文化芸術ホール 多目的ホール
演　　目　映画「長崎の郵便配達」
チケット代　全席自由　500円　※未就学児の入場はご遠慮ください。
定　　員　各回150名（応募多数の場合は抽選）※残席がある場合は当日券販売予定
応募期間　令和８年12月５日㈯ 10:00から令和９年１月15日㈮ 17:00まで
チケット事前申込　⑴平塚市まちづくり財団ホームページ「申込フォーム」から
⑵ハガキに下記事項を記入して申込
❶１回目または２回目　❷郵便番号　❸住所　❹氏名とふりがな
❺電話番号　❻枚数（一申込４枚まで）



※駐車場はございませんので、なるべく公共交通機関をご利用ください。